

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2193300015		
法人名	有限会社しましまハウス		
事業所名	しましまハウス河合		
所在地	岐阜県飛騨市河合町稲越491番地2		
自己評価作成日	平成29年9月4日	評価結果市町村受理日	平成29年10月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=2193300015-00&PrefCd=21&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター ぴーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成29年9月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクトとの交流により地域住民との交わりも増え、薬草採取等、生活リハビリにも役立て健康寿命維持の支援をしている。 ・自然豊かな環境で楽しみを見つけ、生活のメリハリを得ることで、穏やかに過ごして頂けるよう支援します。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、開設10年の節目であり、奥深い山間にありながらも、事業所の存在感を高めている。今年度は、飛騨市が進める「薬草で飛騨を元気にする会」に参加し、周辺の薬草採取と栽培、加工などに、利用者と共に関わっている。薬草を風呂に入れたり、調理にも取り入れるなど、利用者の健康維持に役立っている。長く厳しい冬には、屋内での生活リハビリに力を注ぎ、交流を閉ざすことなく、地域住民の協力を得ながら、穏やかで、その人らしい心豊かな暮らしが送れるよう支援している。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者、職員は「生まれ育った地域の思い出・生い立ちを考慮しながら、一人ひとりの残された能力を探り、焦らず引き出し残された余生を楽しく過ごしてもらいたい」「一人ひとりのやりたいことをサポートしたい」の理念を共有して実践につなげている	管理者・職員は、地域密着型サービスの意義を踏まえ、実践につなげている。利用者の思いに寄り添い、住み慣れた地域の中で、残存機能を活かし、余生を楽しく過ごせるように支援をしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会に参加したり、飛騨市薬草プロジェクトの講座ワークショップを行い、地域の方々に参加を頂き喜ばれている	自治会の一員として、地域の諸行事に参加している。今年度の取り組みとして、住民と共に、「飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト」に参加している。ボランティア団体や地域住民とは、親密なつきあいができている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	飛騨市薬草プロジェクトのワークショップ等の開催場所に施設を開放し、入居者と地域の方の触れ合いの場を作り、地域の方と共に健康作りの意識を高めている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年3回、市の職員や地区の民生委員の方、お巡りさん、家族の方と情報の交換を行っている。内1回は家族会も兼ね皆さんの御家族にも参加して頂き昼食会を行っている	市の条例改正で、年に3回の運営推進会議開催となっている。事業所の現状と行事を報告し、土砂災害や薬草プロジェクトの取り組みについて、話し合っている。駐在所の警察官もメンバーであり、災害や防犯対策で助言を得ている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には行政の方々にも出席して時々施設の情報を共有して頂き、市の方からもEメール等で情報を頂いている。また、市で開催する研修会に参加する等、協力関係を築いている	市の担当者へは、事業所の実情を報告し、市からも災害対策や地域福祉の現状、事故情報などを得ている。市の介護サポート制度も活用し、困難事例は、電話やメールで相談できる関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修を行い、職員の意識を高めて、身体拘束や虐待をしないケアを実践している	帰宅願望が強い人には、あえて抑制せず、さりげなく話題を変えたり、利用者同士で語り合う場面を見守るよう努めている。玄関の施錠は、夜間のみとしている。言葉による拘束や弊害についても学び、拘束や虐待をしないケアを徹底している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	しましまハウス3施設で情報交換を行う等、職員の意識を高めて、虐待防止の徹底に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	行政で開催される権利擁護に関する研修に参加して学ぶ機会を得、内部研修を開いて理解し活用できるように努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規契約時には、書類に沿って利用料金・消耗品の支払い、施設での事故や病気等の対応などの説明を行い、理解・納得を頂いている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	推進会議、家族会、家族の訪問時、意見箱等で利用者・家族の意見を知り、ケアに活かせるように努めている	家族の訪問時に意見や要望を聴き、内容によっては、電話で詳細を聞いている。ホーム便りには、手紙を添えて、相互理解に努め、新しい入居者家族へは、ホームの役割や制度について書面で説明をしている。	家族からは、良い評価をもらっているが、新しい入居者家族には、ホームの役割やケアプランの理解が困難な場合もある。職員のコミュニケーション力の向上に期待をしたい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日々のミーティング、月例ミーティング、内部研修などで、職員の意見や提案を聞き反映させている	管理者は、日々および月例のミーティングにて、職員からの意見や提案を聞く時間を設けている。ケアの在り方や気づき、転倒予防対策、生活リハビリの工夫などがある。また、職員の働きがいのある職場環境についても意見を交わし、定着率向上につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日々のミーティング、月例ミーティングの際、職員の意見交換を行い要望等は経理担当・代表に伝えるようにしている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政主催・グループホーム協議会主催の研修等にも積極的に参加している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域で行われているグループホーム協議会主催のケアマネ会議へ参加し、意見交換・勉強会等向上させる取り組みをしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に御家族御本人と面談を行い、不安・困惑等を聞き取り、共に支援の方向性を考えながら、信頼関係を築けるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族とはより多く 電話・お便り・面談等でコミュニケーションを取り信頼関係を築けるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人及び御家族の意向を確認し、本人の生活動作や心身の状況を把握して職員間で情報を共有し、適切な支援が提供できるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御本人にも役割を持っていただき、普通の家庭らしい毎日を送る事が出来る家になるような関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の様子を電話や写真入りのお便りでお知らせしたり、御家族の来訪時には日頃の様子をお伝えし、共に御本人を支えていく関係づくりを築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御自宅の近隣の方の訪問や地域の方々の訪問時には、自宅でお迎えする時のようにお茶をお出しする等の対応を行い、訪問して頂きやすいようにしている	親戚や知人の訪問も多く、茶でもてなしながら、再訪につなげている。訪問理容師や駐在所の警察官、訪問販売人、近隣住民とも、馴染みの関係ができています。家族の協力を得て、本人の馴染みの場所へも出かけています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を大切にし、楽しく過ごして頂けるような支援に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)が終了しても、必要に応じて御家族の相談を受け支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント情報をフル活用し、御本人のありのままを受け止め、職員間で情報を共有して本人の思いを把握するよう努めている	アセスメントを基に、日頃の会話からも思いを把握し、職員間で共有している。意思表示の困難な人は、表情や動きから汲み取っている。その人の持てる力を引き出し、思いに沿った暮らし方につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人や御家族からお話を聞き、以前のケアマネから情報を教えて頂きます		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時間ごとに担当者が状態を日課表に記入し、次の担当者がその日の状態を把握して、途切れる事の無い支援を行っている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の内容が御本人のニーズに適しているか、プランどおりに行われているか、本人と家族の思いが変わっていないかをチームで確認し記録に残している	本人・家族の意向を確認し、全員で支援経過やニーズに検証を加え、介護計画を作成している。利用者の体調を維持し、自立を支えながら、楽しく穏やかな生活が送れるような計画になっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に残された記録で情報を共有して一人ひとりに必要な支援を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人や御家族の状況を把握し、その時々生まれるニーズに柔軟に対応するよう取り組んでいる。また、一人ひとりのしたい事(畑仕事・散歩・体操等)希望に沿った支援が出来るよう取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で行われている祭りや運動会への参加、市で行われている「介護サポーター制度」の受け入れ、市で進めている薬草プロジェクトのイベント会場の提供等を行い、地元と共に暮らしを楽しむ支援を行っている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の受診が適切に行われるよう、日々の情報(体温・脈拍・血圧・排便等)を提供している	これまでのかかりつけ医を継続し、家族の受診同行を原則としている。協力医への定期受診や急変時は、職員が対応している。緊急時の搬送先は、あらかじめ取り決め、持ちだし用の医療情報を備えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内には、看護師としての配置は無いが、医療は掛かりつけ医の定期受診、各提携医療機関、相談窓口等に問い合わせを行い、早急に対処出来るよう努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院の連携室や相談窓口を活用し、退院後の支援に必要な情報を得ている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期の在り方について、入所時に事業所でできる事を十分説明して方針を共有して頂き、地域の関係者と共に支援に取り組んでいる	重度化への対応は、ホームで日常生活ができるまでとしている。したがって、終末期の支援については、行わない方針であることを説明し、家族の同意を得ている。予測を含めて、利用者の状態を関係者で話し合い、適切な移転先を選択できるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備えて、マニュアルを基に、全ての職員が応急手当や初期対応が出来るよう、消防の訓練を受け勉強会を行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できるようマニュアルを作成し、定期的に訓練を行っている。また、地域との協力体制を築いている	災害訓練は、定期的に行い、各種災害に備えたマニュアルも整えている。近隣との協力体制を築き、備蓄を確保している。土砂災害特別警戒区域でもあり、広場の鉄柱には、行政無線のスピーカーが設置してある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重し自尊心を傷つけない様に、職員の共通理解を保ち、支援を行っている	排泄ケアや入浴での言葉かけは、自尊心を損ねないように、また、羞恥心にも配慮して対応している。ホーム便りに利用者の顔写真を掲載する際は、家族の同意を得ている。居室に入る際も、プライバシーに配慮し、声をかけ、許可を得てから入室している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	アセスメントを行い、御本人の日々の生活の中から本人が表現できない思いを引き出せるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員や施設の都合を優先し当てはめるのではなく、一人ひとりの思いに寄り添い支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御本人・御家族の希望に沿いながら支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	施設内で野菜を作り、収穫した野菜で作る食事を楽しみにしている。青空食堂と称する課外食事も、気分転換になり好評を得ている	食事づくりは、職員が交代で行っている。自家菜園で収穫した野菜や、職員が差し入れた食材を使い、家庭的な味付けで提供し、利用者の食欲を満たしている。利用者は出来ることを手伝い、職員と共に美味しさを共有している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量を把握し体重管理を行っている。夏季は熱中症対策、水分補給にも注意している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは一人ひとりの応じた対応を行っている。洗面具消毒、義歯の洗浄も日を決めて実施している		

岐阜県 しましまハウス河合

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄リズムを職員間で共通理解し自立支援に取り組んでいる。個々に合った衛生用品を使用し工夫している	個々の排泄リズムに合わせ、トイレへ促し、排泄の自立を支援している。排泄用品は、その人の状態に適したものを選択している。夜間も同様に、適時、声をかけ、現在は、ポータブルトイレの設置はしていない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況、水分摂取量を把握し、便秘の原因や食事の内容、体操、運動等個々に応じた支援を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの好むお湯の温度を職員間で共有し、できる所は自分で洗って頂き、個々が好む支援を行います。	入浴は、広い大型の浴槽で、ゆったりと楽しんでいる。好みの湯温や習慣に配慮をしながら、できるだけ自分で洗ってもらうようにしている。また、薬草プロジェクトの推奨する数種の薬草を浴槽に入れて、入浴を楽しむこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	冬季、夏季それぞれその時に合った空調を調整し、何時でも居室で休める支援をしている。また、シーツ・パジャマの清潔を保つよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は誤薬・飲み残しが無いよう名前・日付け・用法を確認し、口腔内への服用を確認するようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力に合った仕事・作業等役割を持っていただき、励みとなるよう支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの体調や意思に沿い、戸外へ出かけられるよう支援している。また、御家族の希望(アンケート)をふまえ、外出支援を行っている	玄関からグランドに続く広場で、日々散歩し、ベンチに腰かけ外気浴を行っている。年間を通して、地域の行事や外食、バラ園などに出かけたり、家族も馴染みの場所へ連れ出している。	

岐阜県 しましまハウス河合

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出支援の際や移動販売車が来た時には、御家族の同意の上で買い物ができるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人の意思を尊重し、電話をかけたり、手紙のやり取りを支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には入居者様に分かりやすいように掲示し、混乱を防ぐように配慮している	共用の間は、広々と開放的である。玄関や随所に季節の花を飾り、壁には、利用者の写真や手づくり作品を掲示し、生活感がある。広い談話室にはソファと畳の間があり、多様な用途に資する、ゆとり空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の場所では、それぞれの時間を過ごしたり、共通の話題で皆さんと一緒に過ごす事が出来るよう場所作りをしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全に注意を払い、不安無く、御本人が落ち着いて過ごして頂けるよう努めている	表札のデザインは、個性的である。テレビを持ち込む人もあるが、家具類は必要最小限で、整理整頓されている。目線には、家族の写真や見やすいカレンダー、スケジュール表などがあり、落ち着いて過ごせる居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの能力が安全に生かせるよう、家具の配置を考えたりローカの所々に椅子を置いて休む事が出来るよう等、工夫している		